

支	介
干	紹

今年(とる)は申年(とし)

平成十六年は申年(とる)です。

日本に生息しているのは「ニホンザル」。顔とおしりの赤い、おなじみのサルです。人間と同じ霊長類に属し、北は青森県下北半島から、南は鹿児島県屋久島まで生息しています。群れをつくり、木の上を得意とし、主に、果実や種子、花、葉などの植物や昆虫を好んで食べるようにです。



ところで近年、野生のニホンザルを見る機会が多くなったようです。観光用に餌づけされたサルが人前に現れたり、里に出て、人間にえさをねだったり、農作物を荒らしたり……。人間をこわがらず、時には、人に襲いかかったりすることもあるようです。被害に遭っている地域では、いわゆる猿害対策が大きな課題になっていきます。日本人にとってなじみの深いサルですが、お互いが敵対し合うのは残念なことです。猿害の防止を図りつつ、サルが将来にわたって自然の状態で生息していくことができるよう、共生の道を探って

いきたいものです。サルは様々な昔話にも登場します

し、サルにまつわることわざや慣用語もたくさんあります。『さるかに合戦』ではサルは悪役でしたが、『桃太郎』や『西遊記』では、主人を支える名脇役として活躍しました。

ことわざで、だれもが知っているのは「猿も木から落ちる」。これは、その道にすぐれている人でも、時には失敗をすることがあるということのたとえ。「木から落ちた猿」は、頼みにするものを失ってどうしてよいかわからない状態のことをいいます。木の上を得意とするサルならではのことわざです。そのほか、「サルまね」「サル智恵」「サル芝居」などの言葉がありますが、どれもあまりいい意味では使われていません。そもそも「サル」「去る」というイメージがよくないのでしょうか。「去る」は「去る」でも、悪運だけは去ってほしいものです。

上富良野町

冬を楽しむ一日に！
第40回かみふらの雪まつり

2月8日(日)10時からラベンダーの丘で知られる「日の出公園」を会場に開催されます。

雪まつり会場には大小の雪像がならび、ポブスレー大会、スノーモービル体験搭乗、もちまきなど催しがいっぱい。

雪まつり会場で冬を楽しもう！

☎かみふらの雪まつり運営委員会
(事務局 役場商工観光まちづくり課)
☎45-6983

中富良野町

ウィンターフェスティバル2004
みんな集まれ北星山スノータウンへ！！

2月15日(日)、北星山スキー場を会場に開催されます。寒さを吹き飛ばし、雪を楽しみましょう。子どもから大人まで気軽に参加できるゲームが盛りだくさん！！皆さんの参加をお待ちしています。

☎ウィンターフェスティバル実行委員会
(事務局 教育委員会社会教育課)
☎44-2204

237 花人街道

広域タウン情報

富良野市

2004発の花火！冬の祭典
第39回ふらのスキー祭り

今年も富良野スキー場特設会場で2日間わたって開催されます。

優勝賞金10万円をかけ、馬を乗せたソリを人が引く「ばん馬人世界選手権」、雪合戦大会、花火大会など特別企画が盛りだくさん、お楽しみ抽選会もあります。ぜひご来場ください。

とき 2月7日(土)～8日(日)
☎ふらのスキー祭り実行委員会
☎23-3388

占冠村

真冬の夜を彩る幻想の世界
アイスドームビレッジ

トマムの冬にしかないファンタジックワールド、アイスドームビレッジ。全てが氷でできたバー「クリスタルカフェ」や「氷の迷路」など、子どもから大人まで楽しめるアトラクションが豊富です。

雪と氷の幻想的な世界へ、ぜひお越しください。

☎役場企画課企画係

☎56-2121

南富良野町

雪をけちらし賞金をゲット！
「第14回氷点下まつり」
参加者大募集

子どもから大人まで参加できるスノーフラッグスや犬ぞり体験のほか、白熱の「人間ばんば大会」、自作ソリ大会など盛り沢山の内容で皆さんの参加をお待ちしています。

とき 2月8日(日) 9時～
ところ 国設南ふらのスキー場
☎氷点下まつり実行委員会
(事務局 役場商工観光課) ☎52-2115